

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
			○	

事務事業No 510 事業名 市道維持修繕事業（道路管理）

【事業基本情報】

事業区分(1)	事業経費	管理経費	○
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計	一般会計	
	款	土木費	
	項	道路橋梁費	
	目	道路維持費	
	大事業	道路維持修繕事業	
事項	市道維持修繕事業（道路管理）		

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	1	道路網の整備
施策	2	生活道路の整備
基本方針	2	道路・橋梁・トンネルの適正管理

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	道路法第16条		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	道路管理課	前島 康成	435-1088
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束	歩道、自転車道の整備			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	道路施設の修繕事業	所々修繕、樹木等処分委託、応急工事委託、舗装維持修繕委託、側溝等浚渫委託、花壇管理委託、植栽管理委託、道路維持修繕工事、舗装維持修繕工事等を行う。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		所々修繕、樹木等処分委託、応急工事委託、路面清掃委託、土砂運搬委託、土砂処分委託、舗装維持修繕委託、側溝等浚渫委託、花壇管理委託、植栽管理委託、道路維持修繕工事、舗装維持修繕工事等を行った。	所々修繕、樹木等処分委託、応急工事委託、路面清掃委託、土砂運搬委託、土砂処分委託、舗装維持修繕委託、側溝等浚渫委託、花壇管理委託、植栽管理委託、道路維持修繕工事、舗装維持修繕工事等を行う。	所々修繕、樹木等処分委託、応急工事委託、路面清掃委託、土砂運搬委託、土砂処分委託、舗装維持修繕委託、側溝等浚渫委託、花壇管理委託、植栽管理委託、道路維持修繕工事、舗装維持修繕工事等を行う。	所々修繕、樹木等処分委託、応急工事委託、路面清掃委託、土砂運搬委託、土砂処分委託、舗装維持修繕委託、側溝等浚渫委託、花壇管理委託、植栽管理委託、道路維持修繕工事、舗装維持修繕工事等を行う。	所々修繕、樹木等処分委託、応急工事委託、路面清掃委託、土砂運搬委託、土砂処分委託、舗装維持修繕委託、側溝等浚渫委託、花壇管理委託、植栽管理委託、道路維持修繕工事、舗装維持修繕工事等を行う。

2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算	
事業費等 千円	事業費	350,840	355,557	509,310		509,310		509,310		509,310		
	伸び率 (%)	-	-	45.2%		0.0%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	53,616	48,374	48,374		48,374		48,374		48,374	
		非常勤職員	3,515	3,010	3,010		3,010		3,010		3,010	
		小計	57,131	51,384	51,384		51,384		51,384		51,384	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債			117,000		117,000		117,000		117,000		
	その他											
	一般財源（税等）	350,840	355,557	392,310		392,310		392,310		392,310		
所要人数	常勤職員	7.23	6.37	6.37		6.37		6.37		6.37		
	非常勤職員	1.67	1.43	1.43		1.43		1.43		1.43		
主な予算内訳		所々修繕74,233千円、樹木等処分委託27,000千円、応急工事委託16,890千円、舗装維持修繕委託81,463千円、側溝等浚渫委託6,172千円、花壇管理委託3,063千円、植栽管理委託61,528千円、道路維持修繕工事47,829千円、舗装										

3 目標及び実績

	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	単位	件	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値	実績値	年度別達成度		
活動指標	苦情件数					400			
		単位	件	全体目標値	-	全体目標達成度	-	年度別達成度	
	要望件数					900			
		単位	件	全体目標値	-	全体目標達成度	-	年度別達成度	
成果指標	修繕件数					266			
		単位	件	全体目標値	-	全体目標達成度	-	年度別達成度	
		単位	件	全体目標値	-	全体目標達成度	-	年度別達成度	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	今後も市道が増加し、道路施設の老朽化が進むため、経済活動や市民生活への影響を最小限に抑えるよう、適正な管理が必要である。
「見直し」 「改善」案	改善案として、職員数の増員確保による体制の整備及び強化、並びに維持管理費等予算の増額による確保が必要となる。具体的に、何人増員と判断できないが、現在の人員では困難と考えられる。